



震災に備えて

現在、東海地震は「いつ発生してもおか

しくない」と言われております。南千住署管内は、土壌が軟弱な沖積層で、木造を中心とした家屋の密集地域も多く、大地震発生の際は、家屋の倒壊や火災被害の発生が懸念されます。隅田川も津波警戒河川です。

そこで、今一度、ご家庭や職場で震災について考えてみましょう。

◎ ケガをしないために、次のことに注意しましょう。

○ 寝室には、なるべく家具を置かないようにしましょう。

○ 二階建ての家屋では、なるべく二階に寝るようにしましょう。

○ タンス、家具などを天井に固定して倒れないようにしましょう。

○ タンスの上には、物を置かないようにしましょう。

◎ もし地震が発生したら・・・

○ 倒れやすいタンスや本棚などから離れ、机やテーブルの下に隠れましょう。

○ 一時集合場所、避難場所を歩いて確認してみましょう。

NTTの「災害伝言ダイヤル」を覚えて活用しましょう。

☆録音171+1+市外局番+自宅の電話番号

☆再生171+2+市外局番+自宅の電話番号

【非常持出品】

両手が使えないリュックサックなどに、避難の時必要なものをまとめて、目のつきやすい所に置いておく。

○ 飲料水 ○ 衣類

履物 ○ タオル、ちり

紙 ○ 食料、乳児のミ

ルク ○ 軍手 ○ 医薬

品 ○ 現金や貴重品

○ ロープ、多機能

ナイフ ○ 懐中時計

(電池を含む) ○ 雨

具(防寒) ○ 携帯ラ

ジオ○マッチやライ

ター ○ 筆記用具 ○

家族の写真 など

※ 非常持ち出し品は、リュックサックにいれるか、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。※ 飲料水と食料は最低3日分は用意しておきましょう。

【非常備蓄品】 地震後の生活を支えるもの、一人3日分程度(食料品等)

【停電に備えて】懐中電灯・ローソク(倒れにくいもの) 【ガス停止に備えて】

簡易ガスこんろ・固形燃料

【断水に備えて】飲料水(ポリ容器などに)

※1人1日3L目安

【防災準備品】 地震直後の火災や家屋倒壊

に備えるもの 【火災に備えて】消火器・三角



消火バケツ・風呂の水の汲み置きなど。

【避難・救出に備えて】おの・ハンマー・スコップ・大バール・防水シート・のこぎりなど

【転倒・落下防止の具体的な固定方法】

○ 二段重ねの家具類は、上下を平型金具などで固定する。

○ 柱、壁体に固定する場合は、L型金具とモクネジで家具の上部を固定する。

○ ガラスには、ガラス飛散防止フィルムを張る。

○ 吊り戸棚などの開き扉は、掛金などにより扉が開かないようにする。

○ 食器棚のガラス製品(ビン類など)が、転倒したりすべり出さないよう防止枠を設ける。

グラツときたら身の安全

地震の時は、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る

火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。

以上警視庁・消防庁のホームページより抜粋

☆荒川区防災用品あつ旋のご案内

申込期間 平成23年年3月31日(必着)

非常食・簡易トイレ・ヘルメット等防災製品があります。尚、お届けには在庫の都合により2ヶ月等かかる場合もあります。

防災用品の問合せ

東京都葛飾福祉工場TEL(3608) 3541

荒川区防災課TEL(3803) 8711

荒川区ホームページより抜粋